

2025 / 年報

令和7年度

No.33

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

はじめに

コロナ禍で令和2年度に3,882人まで落ち込んだ入館者が令和5年度には7,293人まで回復しましたが、令和6年度には1,000人、令和7年度もさらに100人以上減少し6,128人に留まりました。赤ちゃん手形期間の入館者が453人少なかったことを考慮すると、その他の入館者は増加していることとなりますが、入館者増に向け更なる取り組みが必要と考えられます。

今年度の特別テーマ展は「遊佐町の考古学Ⅱ－弥生時代から中世の遊佐町－」と題し、6月14日（土）から9月7日（日）まで開催しました。展示は10章構成とし1章の弥生・古墳・奈良時代前半の遊佐町から10章の中世の遊佐町まで679点の土器・陶器・木製品・金属製品等の出土品を展示しました。会期中に展示に関連する館長講座を2回開催し、79頁の展示図録を刊行しました。

第33回企画展は「縄文時代草創期の石器工房－日向洞窟遺跡西地区－」とし、令和6年度に高島町教育委員会が刊行した『日向洞窟遺跡西地区発掘調査報告書』に記された調査成果を多くの皆様に知っていただくことを目的に9月13日（土）から期間を2ヶ月延長し1月31日（土）まで開催しました。序章から12章までの展示構成とし日向洞窟遺跡西地区から出土した縄文時代草創期の隆起線文土器、爪形文土器、押圧縄文土器片を18点、竪穴遺構や土坑、VI層とされた草創期の包含層から出土した尖頭器、有舌尖頭器、半月形石器、石鏃、石錐、搔器、削器、篋形石器、両面加工石器、石斧、礫石器を2,319点、石核、剥片、碎片を14点の合計2,351点を展示しました。企画展開催中に99頁の展示図録を刊行すると共に、9～10月に考古学セミナーを3回開催し、5名の講師陣の講義をお聞きしました。11月9日には佐藤宏之東京大学名誉教授の「日本列島の縄文時代草創期と日向洞窟遺跡」と題する企画展講演会が開催されました。

特別テーマ展館長講座、第27期考古学セミナー、企画展講演会の様子は録画したビデオをホームページ上で公開すると共に、当日の配布資料もアップしました。

年々減少している学校団体利用は小学校7校 中学校1校 特別支援学校2校 大学2学と昨年とほぼ同数で横ばい状態が続いています。

6月7日（土）～10月26日（日）には、2024「第5回kid's考古学新聞」の入賞作品の全国巡回展を開催しました。県内からの入賞は今年もなかったのですが、全国各地の小学生の作品等19点のパネルを展示しました。

当館の催し物で最も多くの参加者がある「赤ちゃんの手形をつくろう」は5月3～6日の4日間の短期集中開催となりました。参加人数1,759名、手形・足形個数467個と昨年を97個下回りました。

その他の「体験事業・研修事業」もほぼ当初計画どおりに開催できましたが、参加人数は落ち込んだままとなっています。遺跡の旅は「群馬県中南部の遺跡」を見学し、遺跡めぐりは春・秋とも鶴岡市に遺跡や展示施設を巡りました。ほぼ定員いっぱい参加者がありました。令和5年度に再開したうきたむ学講座は今期も2回の講座を開講できました。

末尾になりましたが、何かとご支援賜りました山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課、公益財団法人山形県埋蔵文化財センター、県内各市町・教育委員会、東北芸術工科大学、米沢女子短期大学、うきたむ考古の会、山形考古学会の皆様へ深く感謝申し上げます。

令和8年3月31日

館長 渋谷孝雄

目 次

1. 施設概要	1
2. 開館後のあゆみ	3
3. 展示の概要	9
(1) 常設展示	
(2) 企画展示	
4. 教育普及活動	14
(1) 講演会・ギャラリートーク	
(2) 体験事業	
(3) 研修事業	
(4) 共催事業	
(5) 学校教育との連携	
(6) その他	
5. 資料の活用	18
(1) 写真利用	
(2) 刊行物一覧	
6. 入館者	19
(1) 令和7年度 月別入館者	
(2) 主な入館団体	
(3) 来館者アンケート	
7. 管理及び運営	21
(1) 組織・職員	
(2) 運営協議会	
8. 受贈図書	22

1. 施設概要

(1) 設置の趣旨

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館は、本県にとっての歴史上重要な古代の遺跡に関する資料の収集、保管及び展示を行うとともに、風土記の丘の中心として設置するものである。

(2) 沿革

昭和 51 年度	第 6 次山形県総合開発計画及び第 2 次山形県教育振興計画において、風土記の丘（歴史公園）建設構想提示
昭和 56 年度	風土記の丘実態調査を実施し、候補予定地は、高島町の洞窟遺跡群を中心とする置賜地域が適当と報告
昭和 60 年度	第 7 次山形県総合開発計画及び第 3 次山形県教育振興計画において、候補地区を高島町を中心とする置賜地区に位置付け
昭和 61 年度	風土記の丘基本構想・計画を作成
平成 2 年度	考古資料館の基本・実施設計を作成
平成 3 年度	高島町町有地を借用し、考古資料館本体工事着工、展示工事着工
平成 4 年度	考古資料館建物本体・展示工事完成、考古資料館外構工事・植栽工事施工 名称を「うきたむ風土記の丘考古資料館」に決定
平成 5 年度	4 月 23 日考古資料館開館
令和元年度	考古資料館研修室、資料室、事務室 空調設備更新
令和 3 年度	考古資料館屋根改修工事
令和 4 年度	常設展示室、企画展示室、收藏庫の 空調設備改修工事

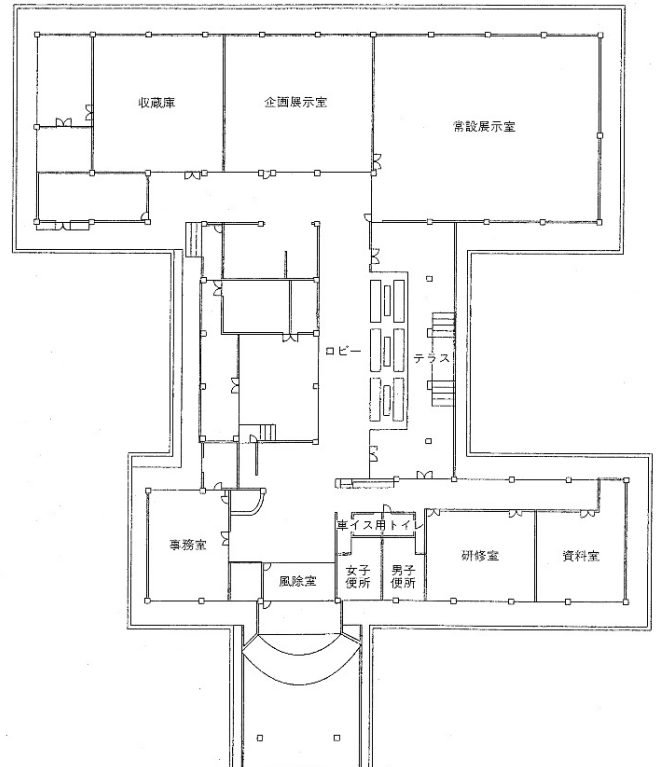
(3) 施設

鉄筋コンクリート造平屋建て

敷地面積：7,000 m²

延床面積：1,358.24 m²

常設展示室	279.00 m ²
企画展示室	129.37 m ²
收藏庫（2 層）	129.37 m ²
研修室	125.70 m ²
事務室	67.50 m ²
作業室・荷解室	51.75 m ²
ロビー・ホール	336.85 m ²
その他（機械室等）	238.70 m ²



[山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館平面図]

- (4) **所在地** 山形県東置賜郡高畠町大字安久津 2117
JR 高畠駅よりタクシーで 15 分
JR 高畠駅より自転車で 40 分
※高畠駅にレンタサイクルがあり「まほろばの緑道」のサイクリング道がある
- (5) **開館時間** AM9:30～PM4:30 (入館は 4:00 まで)
- (6) **休館日** 月曜日、国民の祝日 (こどもの日と文化の日は無料開館)
年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)
大型連休中は、臨時開館の場合あり
燻蒸作業のため臨時休館の場合あり
- (7) **入館料金** 一般 200 円 (150 円)、大学生 100 円 (70 円)、高校生以下無料
() は 20 名以上の団体料金 (1 人につき)
- (8) **入館料の減免 次の基準により減免 (無料入館)**
1. こどもの日・文化の日・その他教育委員会が指定する日において、資料館が主催する教育、学術及び文化の普及向上に資する行事に参加する者については入館料を免除する
 2. 前項に規定する者のほか、入館料の減免を受けることができる者は、次の各号に該当する者とする
 - 1) 教育課程に基づく教育活動として入館する児童、生徒、学生及びこれらの引率者
 - 2) その他教育委員会が公益上特に必要があると認める者※上記の入館料の減免を受けようとする者は、入館料減免申請書を考古資料館に提出すること
 - 3) 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳の交付を受けている者、並びにその付添い

2. 開館後のあゆみ

※過去10年分のみ記載

【企画展示】

年度	種別	展示テーマ	期間
H27	特別テーマ展	「災害と祈り」	6月6日(土)～8月5日(水)
	第23回企画展	「重要文化財 水木田遺跡展」	10月1日(木)～12月27日(日)
	町村合併60周年 記念特別展	「たかはた美術館」展	8月8日(土)～9月20日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
28	特別テーマ展	「遺跡今昔物語ーいせきこんじゃくものがたりー」	6月11日(土)～9月11日(日)
	第24回企画展	「森と暮せばー縄文人の植物利用ー」	9月17日(土)～12月4日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
29	特別テーマ展	「くらべてみよう今と昔～台所編～」	6月10日(土)～9月10日(日)
	第25回企画展	「木と生きる～弥生・古墳時代の木製品～」	9月16日(土)～12月3日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
30	特別テーマ展	「押出遺跡の6次調査と山形県内の縄文前期後半の世界」	6月9日(土)～9月9日(日)
	第26回企画展	「木は語る～古代から近世の木簡と木製品～」	9月15日(土)～12月2日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
R1	特別テーマ展	「花沢A遺跡と置賜の縄文時代中期後半の世界」	6月8日(土)～9月8日(日)
	第27回企画展	「縄文時代後期の山形」	9月14日(土)～12月1日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
2	第28回企画展	「水木田遺跡と縄文時代中期前半の山形」	9月12日(土)～12月6日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
3	特別テーマ展	「小国町の考古学」	6月12日(土)～9月5日(日)
	第29回企画展	「山形県の近世城郭と出土品」	9月11日(土)～12月5日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
4	特別テーマ展	「高瀬山の考古学Ⅰー旧石器時代・縄文時代ー」	6月11日(土)～9月4日(日)
	第30回企画展	「最上地域の縄文時代」	9月10日(土)～12月4日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
5	特別テーマ展	「高瀬山の考古学Ⅱー弥生時代から中世ー」	6月10日(土)～9月3日(日)
	第31回企画展	「山形県内の指定文化財ー考古資料ー」	9月9日(土)～12月3日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
6	特別テーマ展	「遊佐町の考古学Ⅰー旧石器時代から縄文時代ー」	6月15日(土)～9月8日(日)
	第32回企画展	「やまがたの遺跡の中のカミ・ホトケ」	9月14日(土)～12月1日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	
7	特別テーマ展	「遊佐町の考古学Ⅱー弥生時代から中世の遊佐町ー」	6月14日(土)～9月7日(日)
	第33回企画展	「縄文時代草創期の石器工房ー日向洞窟西地区ー」	9月13日(土)～11月30日(日)
	テーマ展	「古墳時代から中世の考古資料」	

【講演会等】

P:パネリスト

C:コーディネーター

年度	名称	講演・テーマ等	講師
H27	企画展記念講演会	「水木田遺跡にみる縄文中期前半の世界」	阿部明彦(埋蔵文化財センター)
	第17期 考古学セミナー	「縄文時代中期前葉から中葉の遺跡と遺物」 ①「山形県の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡の概要」 渋谷孝雄(当館館長) 「置賜地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡-台ノ上遺跡-」 菊地政信(考古学協会) ②「村山地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡-西海淵遺跡-」 菅原哲文(埋文センター) 「最上地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡-西ノ前遺跡-」 黒坂雅人(埋文センター) ③「庄内地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡-西向遺跡-」 須賀井新人(埋文センター) 「山形県の縄文時代中期前葉から中葉の石器」 秦 昭繁(考古学研究者)	3回講座

	第X期 うきたむ学講座	①「押出遺跡の調査成果について」水戸部秀樹(埋蔵文化財センター) 「押出遺跡における植物遺体」佐々木由香(パレオ・ラボ) 「福井県鳥浜貝塚について」小島秀彰(福井県若狭三方縄文博物館) 「富山県小竹貝塚について」町田賢一(富山県文化振興財団) 「押出遺跡における縄文前期遺跡との接触・交流」小林圭一(埋蔵文化財センター) ②「大谷地の地質と地形」阿子島 功(山形大学名誉教授) 「大谷地周辺に立地する縄文時代草創期の遺跡」長井謙治(東北芸術工科大学講師) ③「大谷地の生物(植物)」吉野智雄(前うきたむ風土記の丘考古資料館運営協議会会長) 「大谷地の歴史と生活」佐藤庄一(山形考古学会会長)	
	考古資料検討会	基調報告「2015年県内の発掘調査の概要」 稲村圭一(県文化財保護・生涯学習課) 報告遺跡①酒町遺跡(長井市教育委員会) ②清水上遺跡(南陽市教育委員会) ③米沢館山城跡(米沢市教育委員会) ④押出遺跡(埋蔵文化財センター) ⑤日向洞窟西地区遺跡(東北芸術工科大学)	
28	企画展記念講演会	「縄文人がつくったふるさとの森」 鈴木三男(東北大学名誉教授)	
	第18期 考古学セミナー	「縄文時代の植物利用」 3回講座 ①「山形県内の縄文時代植物利用の概要」渋谷孝雄(当館館長) 「押出遺跡の植物利用」水戸部秀樹(埋蔵文化財センター) ②「小山崎遺跡の植物利用」大川貴弘(遊佐町役場) 「高瀬山遺跡の水場遺構と植物利用」小林圭一(埋蔵文化財センター) ③「縄文時代の植生史と植物利用」吉川昌伸(古代の森研究舎) 「出土遺体にみる縄文時代の植物利用」吉川純子(古代の森研究舎)	
		第XI期 うきたむ学講座	(特別講座) 「野仏に秘められたものPⅡ」平吹利数(白鷹町文化財保護審議会会長) 「塩田行屋の仏像とその由来」宮本晶朗(文化財マネージメント) ①「伊達氏のふるさと梁川城」今野賀章(伊達市教育委員会) 「伊達時代の米沢－館山城跡を中心に－」宮田直樹(米沢市教育委員会) ②「置賜の窯跡」高橋 拓(飯豊町教育委員会) 「江戸前期の地方窯業」渡辺芳郎(鹿児島大学) ③「置賜の民俗」阿部宇洋(農村文化研究所) 「川西町の石造物」伊藤義隆(川西町文化財保護協会)
			山形の 発掘調査検討会
29	企画展記念講演会	「実験で検証する弥生・古墳時代の木製品」 山田昌久(首都大学東京教授)	
	第19期 考古学セミナー	「弥生・古墳時代の木製品」 3回講座 ①「展示資料解説」伊藤純子(当館職員) 「弥生・古墳時代の木製品の概要」渋谷孝雄(当館館長) ②「仙台平野の弥生時代木製品が出土した遺跡」荒井 格(仙台市教育委員会) 「仙台平野の弥生時代の木製品」 同上 ③「服部・藤治屋敷遺跡の調査と古墳時代木製品」高桑弘美(埋蔵文化財センター) 「板橋2遺跡の調査と古墳時代木製品」齋藤 健(埋蔵文化財センター)	
		第XII期 うきたむ学講座	(特別講座) 「置賜の前期古墳研究の課題－長岡地区古墳群の成立と展開をめぐって－」 佐藤鎮雄(前山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館長) 「南陽市長岡南森調査研究報告－南森古墳推定遺跡測量調査を終えて－」 角田朋行(南陽市教育委員会) ①「置賜で活躍した仏師たち－白鷹町の調査事例から－」 石井紀子(白鷹町地域おこし協力隊) 「置賜の仏像と醍醐寺の関係－高島町・大聖寺を中心に－」 石井智也(東北古典彫刻修復研究所) ②「地域の歴史をつくる－『清水町の歴史とくらし』の刊行から－」佐藤庄一 ③「米沢産物集と動物たち」鳥海隼夫 「近世後期の米沢の文学」石黒志保(市立米沢図書館)
			山形の 発掘調査検討会

30	特別テーマ展 関連講座	①「押出遺跡6次調査の成果」水戸部秀樹(埋蔵文化財センター) 「川内袋遺跡の調査成果」齊藤主税(埋蔵文化財センター) ②「高瀬山遺跡の調査成果」齊藤主税(埋蔵文化財センター) 「山形県内の縄文時代前期後半の土器様相」小林圭一(埋蔵文化財センター) ③「山形県内の縄文時代前期後半の石器作成と組成」秦 昭繁(考古学研究者) 「山形県内の縄文時代前期後半の集落と暮らし」菅原哲文(埋蔵文化財センター)
	企画展記念講演会	「出土文字資料と古代出羽国」 十川陽一(山形大学人文社会科学部准教授) 「古代から近世の木簡と木製品」 3回講座
	第20期 考古学セミナー	①「古代の木製品—建築部材・折り・文字—」佐藤庄一(山形考古学会会長) 「大在家遺跡の木製品と文字資料」井田秀和(元高島町教育委員会) ②「上高田遺跡の木製品と文字資料」齋藤 健(埋蔵文化財センター) 「中近世の木製品と文字資料」高桑 登(埋蔵文化財センター) ③「馳上遺跡の木製品と文字資料」渡辺和行(埋蔵文化財センター) 「古志田東遺跡の木製品と文字資料」手塚 孝(米沢市教育委員会)
	第 XIII 期 うきたむ学講座	(特別講座)「高島町の石造文化を探る—中世から近現代まで—」 加藤和徳(日本民俗学会会員・日本石仏協会理事) 「下張りをはがす」 小林貴宏(高島町教育委員会) ①「米沢藩の軍制改革—西洋砲術導入をめぐる諸問題について—」 布施賢治(米沢女子短期大学) 渡部幸雄 「東北から見た戊辰戦争」 五十公野裕也(山形大学理学部) ②「高島町周辺の鉱山と鉱物」 ③「やまがたの無形文化財 深山和紙～守り伝えるための地域づくり～」 高橋信博(地域づくりプランナー) ④「白鷹紬～生業(なりわい)について～」 守谷英一(東北芸術工科大学)
	考古資料検討会	基調報告「2018年県内の発掘調査の概要」 岩崎恒平(県文化財・生涯学習課) 報告遺跡①大南遺跡(米沢市教育委員会) ②南森遺跡(南陽市教育委員会) ③上屋地B遺跡(飯豊町教育委員会) ④日向洞窟遺跡範囲確認調査(高島町教育委員会) ⑤日向洞窟遺跡とその周辺(日向洞窟遺跡調査団)
	特別テーマ展 関連講座	①「高島町の縄文時代中期後葉・末葉の遺跡」井田秀和(高島町教育委員会) 「米沢市内の縄文時代中期後半の遺跡」手塚 孝(日本考古学協会) ②「長井市の縄文時代中期後葉の遺跡」岩崎義信(長井市教育委員会) 「小国町の縄文時代中期後半の遺跡」阿部明彦(山形考古学会副会長) ③「花沢A遺跡第3次発掘調査について」佐藤智幸(米沢市教育委員会) 「山形県内の縄文時代中期後半の炉と土器の変遷」菅原哲文(埋蔵文化財センター)
R1	企画展記念講演会	「山形の縄文時代後期について」 小林圭一(埋蔵文化財センター)
	第21期 考古学セミナー	「縄文時代後期の山形」 3回講座 ①「置賜の縄文時代後期の遺跡」手塚 孝(日本考古学協会) 「村山の縄文時代後期の遺跡」植松暁彦(埋蔵文化財センター) ②「最上の縄文時代後期の遺跡」水戸部秀樹(埋蔵文化財センター) 「庄内の縄文時代後期の遺跡」渋谷孝雄(当館館長) ③「縄文時代後期の住居と集落」菅原哲文(埋蔵文化財センター) 「縄文時代後期の墓—秋田を中心に—」小林 克(三内丸山遺跡発掘調査委員会委員長)
	第 XIV 期 うきたむ学講座	(特別講座) シンポジウム「溝で囲まれた遺跡にせまる～大南遺跡～」 C:吉田 欽 ・「大南遺跡発掘調査の成果」佐藤 公保(米沢市教育委員会) ・「大南遺跡の年代測定結果」門叶 冬樹(山形大学) ・「大南遺跡出土の陶磁器」山口 博之(米沢女子短期大学) ・「大南遺跡出土の神像」山下 立(滋賀県立安土城考古博物館) ①「伊佐早謙が残した林泉文庫について」新宮 学(山形大学人文社会科学部) 「戦国末期から近世前期の土豪と村落」渡部眞治(徳太郎文庫) ②「鉱山と鉱床の形成過程～蔵王山の下に金が眠る!？」中島和夫(山形大学名誉教授) ③「長井市の仏像・神像について」長坂一郎(東北芸術工科大学) 「長井市史編纂事業について」岩崎義信(長井市教育委員会)
	特別講演会	「旧石器時代の丸木舟製作と航海の記録」 山田昌久(首都大学東京特任教授)
考古資料検討会	基調報告「2019年県内の発掘調査の概要」 岩崎恒平(県文化財・生涯学習課) 報告遺跡 ①桐ノ木遺跡(米沢市教育委員会) ②南森遺跡(南陽市教育委員会) ③日向洞窟遺跡範囲確認調査(高島町教育委員会)	

2	企画展記念講演会	「山形県の縄文時代中期前半の文化動態」 菅原哲文(多賀城市教育委員会)
	館長講座	「小山崎遺跡を知ろう」 3回講座
	第22期 考古学セミナー	「水木田遺跡と縄文時代中期前半の山形」 3回講座 ①「重要文化財 水木田遺跡出土品について」阿部明彦(山形考古学会副会長) 「庄内地域の縄文時代中期前半について」須賀井新人(埋蔵文化財センター) ②「最上地域の縄文時代中期前半について」水戸部秀樹(埋蔵文化財センター) 「村山地域の縄文時代中期前半について」渋谷孝雄(当館館長) ③「東置賜地域の縄文時代中期前半について」菊地政信(日本考古学協会会員) 「西置賜地域の縄文時代中期前半について」岩崎義信(長井市教育委員会)
3	企画展記念講演会	「近世城郭と石垣」 北野博司(東北芸術工科大学教授)
	館長講座	「小国町の考古学」 2回講座
	第23期 考古学セミナー	「発掘調査でわかった山形県内の近世城郭と出土遺物」 3回講座 ①「米沢城の発掘調査と出土遺物」 菊地政信(米沢市教育委員会) 「舘山城の発掘調査と出土遺物」 佐藤公保(米沢市教育委員会) ②「山形城の発掘調査と出土遺物」 齋藤仁(山形市) ③「鶴ヶ岡城の発掘調査と出土遺物」 菅原哲文(埋蔵文化財センター) 「亀ヶ崎城の発掘調査と出土遺物」 高桑登(千葉県教育振興財団)
4	企画展記念講演会	「最上地域の縄文時代」 阿部明彦(山形考古学会会長)
	館長講座	「高瀬山の考古学Ⅰ」 3回講座
	第24期 考古学セミナー	「最上地域の縄文時代」 3回講座 ①「最上地域の縄文時代早期・前期の遺構と遺物」渋谷孝雄(当館館長) 「最上地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺構と遺物」菅原哲文(埋蔵文化財センター) ②「最上地域の縄文時代中期後葉の遺物と遺構」水戸部秀樹(埋蔵文化財センター) 「最上地域の縄文時代後期の遺物と遺構」水戸部秀樹(埋蔵文化財センター) ③「最上地域の縄文時代晩期の遺物と遺構」小林圭一(埋蔵文化財センター) 「縄文時代の緑色石英製玉とその分布」三澤裕之(秀明大学教授)
	考古資料検討会	基調報告「2022年度県内の発掘調査の概要」 竹田純子(県文化振興・文化財活用課) 報告遺跡 ①台ノ上遺跡 佐藤公保(米沢市教育委員会) ②南森遺跡 斉藤紘輝(南陽市教育委員会) ③大在家遺跡 水口哲(高島町教育委員会) 研究報告「層序学・堆積学による前期旧石器出土の遺跡認識—飯豊町上屋地B遺跡を主に—」 秦昭繁(山形考古学会)
5	企画展記念講演会	「山形県の指定文化財—考古資料—について」 高桑弘美(山形県文化財保護審議会委員)
	特別テーマ展 関連講座	「高瀬山の考古学Ⅱ」 2回講座 ①「弥生時代から古墳時代の高瀬山遺跡」植松暁彦(埋蔵文化財センター) ②「古代から中世の高瀬山遺跡」渡辺和行(埋蔵文化財センター)
	第25期 考古学セミナー	「山形県の指定文化財と出土遺跡」 3回講座 ①「旧石器時代・縄文時代草創期の指定文化財と関連遺跡」渋谷孝雄(当館館長) 「縄文時代の指定文化財と関連遺跡」小林圭一(埋蔵文化財センター) ②「弥生時代の指定文化財と関連遺跡」菅原哲文(埋蔵文化財センター) 「古墳時代の指定文化財と関連遺跡」草野潤平(埋蔵文化財センター) ③「奈良・平安時代の指定文化財と関連遺跡」植松暁彦(埋蔵文化財センター) 「鎌倉・室町時代の指定文化財と関連遺跡」高桑登(埋蔵文化財センター)
	考古資料検討会	基調報告「2023年度県内発掘調査の概要」 稲村圭一(県博物館・文化財活用課) 報告遺跡 ①舘山城跡 佐藤公保(米沢市教育委員会) ②南森遺跡 斉藤紘輝(南陽市教育委員会) ③大在家遺跡 水口哲(高島町教育委員会) ④中洗2遺跡 齋藤健(埋蔵文化財センター) ⑤材木遺跡 三澤裕之(山形考古学会)
6	企画展記念講演会	「やまがたの遺跡の中のカミ・ホトケ」 三上喜孝(国立歴史民俗博物館教授)
	館長講座	「遊佐町の考古学Ⅰ」 全2回講座

6	第26期 考古学セミナー	「やまがたの遺跡の中のカミ・ホトケ」 3回講座 ① 「庄内平野の遺跡からみるカミ・ホトケ」佐藤庄一(山形考古学会顧問) 「古代最上・置賜郡の寺に関するあれこれ」渡辺和行(埋蔵文化財センター) ② 「遺跡の中のカミ・ホトケ 一八幡一遺跡の出土事例から」水戸部秀樹(埋蔵文化財センター) 「遺跡の中のカミ・ホトケ 一中近世の遺跡を中心に」高桑登(埋蔵文化財センター) ③ 「『カミ・ホトケ』の信仰と経塚 一山形県内の経塚を中心に」岩崎義信(長井市史編纂専門員) 「遺跡の中のカミ・ホトケ 一米沢市の調査事例を中心に」佐藤公保(米沢市教育委員会)
	考古資料検討会	基調報告「2024年度県内発掘調査の概要」(県博物館・文化財活用課) 報告遺跡 ① 館山城跡 佐藤公保(米沢市教育委員会) ② 南森遺跡 角田朋行(南陽市教育委員会) ③ 西田遺跡 水戸部秀樹(埋蔵文化財センター)
	第XVI期 うきたむ学講座	① 「天蚕繭の生産という生業」守谷英一(置賜民俗学会会長) 「小国マタギの現状と課題」草刈広一(NPO 法人 飯豊朝日を愛する会理事長) ② 「置賜の魚類—魚類相の成り立ちの歴史とヒトとの関わり—」半澤直人(山形大学名誉教授) 「置賜の歴史的救荒植物・かてものについての一考察」島津憲一(高島町文化財保護会会長)
7	企画展記念講演会	「日本列島の縄文時代草創期と日向洞窟遺跡」 佐藤宏之(東京大学名誉教授)
	館長講座	「遊佐町の考古学II」 全2回講座
	第27期 考古学セミナー	「日向洞窟西地区と縄文時代草創期の置賜」 3回講座 ① 「日向洞窟遺跡西地区の調査と縄文時代草創期の置賜の概要」渋谷孝雄(当館館長) ② 「日向洞窟遺跡の槍先形尖頭器を技術基盤とする石器群と東日本における位置づけ」 鈴木 雅(蔵王町教育委員会) 「日向洞窟遺跡西地区出土の頁岩製槍先形尖頭器における技術学的検討」 大場正善(山形県埋蔵文化財センター) ③ 「日向洞窟遺跡西地区の年代的位置づけと石器群の構造」 鈴木大輔(高島町教育委員会) 「日向洞窟遺跡総括報告書刊行に向けて」 水口 哲(高島町教育委員会)
	考古資料検討会	基調報告「2025年度県内発掘調査の概要」(県博物館・文化財活用課) 〈調査報告〉 「南森遺跡」 齊藤紘輝 (南陽市教育委員会) 〈研究発表〉 「慶長5年出羽合戦の城～最上義光と上杉景勝の戦争用城の到達点」 保角里志 「東根市蟹沢遺跡・尾花沢市谷地橋遺跡の概報」 佐藤祐輔・阿部明彦・小関優美・桑原葵・杉山ななせ・廣川真実
	第XVII期 うきたむ学講座	① 「絵図と水帳からみる河川の氾濫」 岩崎義信 (長井市観光文化交流課) 「野川扇状地と最上川氾濫原の微地形と古地図・古記録」 阿子島功 (山形大学名誉教授) ② 「赤色立体図から見る山間地の遺跡や地形 一中世城館跡を中心に」 角田朋行 (南陽市教育委員会社会教育課史跡文化主幹) 「絵図から見る米沢城—御三階をめぐって—」 吉田歆 (米沢女子短期大学教授)

【体験教室】

- ・縄文土器づくり (平成5～23年度)
- ・古代食作り (平成6～17年度)
- ・弓矢づくり (平成7・13年度～)
- ・縄文土偶づくり (平成9年度)
- ・縄文釣り針づくり (平成10年度)
- ・赤ちゃん手形づくり (平成13年度～)
- ・ガラス玉づくり (平成16年度～)
- ・古代の編布づくり (平成8～22年度・平成28年度～)
- ・スクールオブジョウモン (平成28年度～)
- ・勾玉づくり (平成6・10年度～)
- ・縄文住居づくり (平成7年度)
- ・夏休み親子遺跡探検 (平成8～9年度)
- ・少年少女考古学教室 (平成9年度)
- ・縄文祭り具づくり (平成10年度)
- ・柿渋染めづくり (平成16年度)
- ・古代風ブレスレットづくり (平成26年度～)
- ・大人の自由研究 (平成29年～)

[当館事業で行っている体験メニュー一覧] ※令和7年現在

名 称	内 容	所要時間	人数(最大)	参加費
勾玉づくり	滑石というやわらかい石でつくります	60～90分	20名	200円
弓矢づくり	竹を利用してつくります	60～90分	10名	200円
石器づくり	頁岩という石を利用して石器をつくります	30～60分	10名	200円
古代風ブレスレットづくり	麻紐を編んでオリジナルのブレスレットをつくります	30～60分	20名	200円
コースターをつくろう	縄文時代から続くアンギン台を使う方法やミニ機織り機を使う方法でコースターを作ります	60～90分	20名	200円
ガラス玉をつくろう	古墳時代のガラス玉の加工方法の一つ「巻きつけ技法」の体験をします。	90分	20名	1,000円

[団体向け体験メニュー一覧] ※令和7年現在

名 称	内 容	所要時間	人数(最大)	参加費(減免後)
火おこし	「ひもぎり式」という、摩擦を利用した古代以来の方法で火をおこします	10～30分	30名	無料
勾玉づくり	滑石というやわらかい石でつくります	60～90分	100名	100円 150円(簡易版)
弓矢射ち	的に向かって弓矢を射つ体験をします。	10～30分	30名	無料
古代風ブレスレットづくり	麻紐を編んでオリジナルのブレスレットをつくります	30～60分	30名	100円
コースターをつくろう	縄文時代から続くアンギン台を使う方法やミニ機織り機を使う方法でコースターを作ります	60～90分	10名	100円
ジュズダマでストラップをつくろう	縄文時代から栽培されてきた、ジュズダマという植物の種子を使ってオリジナルストラップを作ります	30分	20名	50円

※その他、個人又はグループで各種体験を行うこともできます。(お電話による事前予約が必要です)

【うきたむ縄文まつり】

・縄文月見の宴(平成5～9年度)

・縄文まつり(平成10～19・23～24年度)

【遺跡めぐり・遺跡の旅】

・春・秋の遺跡めぐり(平成8年度～)

・みる・きく・ふれる遺跡の旅(平成10年度～)

3. 展示の概要

(1) 常設展示

置賜地方を中心に県内各遺跡の出土資料を展示し、旧石器時代から古墳時代までを通史的に理解することができるような構成としている。

ロビー展示では、「置賜のあけぼの」をテーマとし、小国町の岩井沢遺跡や湯の花遺跡などから出土した旧石器時代の資料を展示している。また、槍の復元品により、使用例を示している。

常設展示室では、「大谷地をかこむ遺跡」「縄文時代のタイムカプセル」「古墳を造る人々」をテーマとしている。

「大谷地をかこむ遺跡」では、高畠町の日向洞窟（国指定史跡）から出土した縄文時代草創期の微隆起線文土器をはじめ、縄文草創期から前期の資料を展示している。

「縄文時代のタイムカプセル」では、高畠町の押出遺跡の資料を展示している。展示品には、重要文化財に指定されているものが大半で、縄文土器や各種の石器の他、彩漆土器（レプリカ）やクッキー状炭化物などがある。湿地帯に位置する遺跡で、植物由来の遺物が良好な状態で発見されており、木製品なども展示している。

「古墳を造る人々」では、弥生時代から古墳時代の展示を行っている。弥生時代の萩生田遺跡（南陽市）から出土した石包丁や古墳時代の甕、柑、甌、坏などの土器、お花山古墳（山形市）から出土した鏡・勾玉・ガラス玉などを展示している。

企画展示室では、企画展示以外の期間は、「古墳時代から中世の考古資料」として、常設展示に続く通史的な内容の展示を行っている。「古墳時代の暮らし」「各地にひろがる須恵器生産」「中世の人びとと信仰」をテーマとし、古代の役所などで使用されていたと考えられる瓦や山形県の指定文化財である円面硯、中世の信仰に関わる一字一石経・板碑などを紹介している。



(2) 企画展示

①特別テーマ展「遊佐町の考古学Ⅱ－弥生時代から中世の遊佐町－」 6月14(土)～9月7日(日)

遊佐町は県内で最も早く科学的な発掘調査が行われた町で、その後も旧石器時代から中世まで多くの遺跡の発掘調査が行われてきた。

今年度は昨年度の旧石器・縄文時代に続く弥生時代から中世までの出土品を展示した。今回の展示構成は10章とした。

第1章 弥生・古墳・奈良時代前半の遊佐町

弥生時代では前期の神矢田遺跡、中期の柴燈林5遺跡、後期の袋冷遺跡の17点の土器を展示した。古墳時代では致道博物館に収蔵されている丸池出土といわれている勾玉・管玉・金環を合わせて13点展示した。また、恐らく奈良時代の前半に遡ると見られる吹浦沖の海底から引き上げられた須恵器甕と、8世紀代とみられる酒田市の指定文化財に指定されている三崎山から採取された蕨手刀を展示した。

第2章 奈良時代後半の遊佐町

奈良時代の遺跡も多くはないが、この時期の最も古い8世紀第3四半期に遡る須恵器が剣龍神社西窯跡から採集されている。また、第3～4半期には吹浦遺跡で集落が営まれ、上高田遺跡の旧河川跡の最下層から土器が出土した。これらの図面や写真と共に48点の土器を展示した。

第3章 平安時代の遊佐町の供膳器の変遷

平安時代に入ると調査遺跡数は爆発的に増加する。9世紀の第1四半期から10世紀末、そして11世紀代に入ると考えられる供膳具を四半期毎に分けて展示した。

9世紀第1四半期の宮ノ下遺跡、第2四半期の地正面遺跡、第3四半期の地正面遺跡、北目長田遺跡、第4四半期の下長橋遺跡、大坪遺跡の土器を、10世紀では第1四半期の下長橋遺跡、第2四半期の小深田遺跡と下長橋遺跡、第3四半期から第4四半期を経て、11世紀代に及ぶと見られる下長橋遺跡の土器を各遺跡の土器119点を図面や写真のパネルと共に展示した。

第4章 奈良・平安時代の煮沸具と貯蔵具

煮沸具である土師器や赤焼土器はその多くが破片で出土するため、展示できる資料は多くはない。奈良時代に遡る可能性がある吹浦遺跡の土師器、平安時代の上高田遺跡や東田遺跡の小形から中形の甕、小深田遺跡や東田遺跡の赤焼土器の甕や羽釜、大坪遺跡や東田遺跡の赤焼土器の埴等13点を展示した。

貯蔵具では奈良時代に遡る小深田遺跡SK156、SD265、SD400出土の短頸壺や壺、平安時代の東田遺跡、上高田遺跡須恵器の壺や甕に加え、堂田遺跡の珍しい鳥形須恵器等13点を展示した。

第5章 平安時代の木製品

木製品は乾燥と湿潤を繰り返す通常の遺跡では腐朽して残らないが、旧河川跡や井戸跡など水漬けで湿潤な環境が保たれているところでは長い年月が経過しても残る。

第1節 建築部材では上高田遺跡建築部材を、第2節 農耕用具では上高田遺跡・宮ノ下遺跡の農耕用具である鋤や鍬、鎌の柄を、第3節 狩猟具では上高田遺跡の木製の弓を展示した。第4節 器と台所では宮ノ下遺跡・上高田遺跡河川跡から出土した木製の蓋、皿、椀、曲物、瓢箪の柄杓、火鑽臼などを展示した。第5章の展示数は32点である。

第6章 地鎮の土器

遊佐町の遺跡では地震で倒壊し、柱を埋めた「掘り方」が大きく変形した痕跡が下長橋遺跡、浮橋遺跡で確認されている。また、地鎮祭祀後の一括廃棄と考えられる遺構が上記2遺跡に加え、東田遺跡でも検

出されている。ここでは東田遺跡と下長橋遺跡から出土した地鎮祭に使われたとみられる土器と小礫を 38 点展示した。

第 7 章 平安時代の遊佐町の生産・手仕事・装身・陶硯・金属製品

製塩土器や漁具としての土錘、鍛冶用具、紡織具、刷毛やへらなど手仕事で使われた品々、身を飾った石帯や帯金具、櫛、下駄を陶硯では円面硯、二面硯、風字硯を、金属器では鉄鏃、鋏先、刀子を、また古銭では皇朝十二銭のひとつの「隆平永寶」と渡来銭を合わせて 92 点展示した。

第 8 章 平安時代の遊佐町の祈りに関わる木製品・木簡・墨書土器

祈りに使われた木製品、文字が記された木簡、同じく文字が記された土器を展示した。祈りに使われた木製品では宮ノ下遺跡の仏画のある板・楳(つえ)、上高田遺跡の人形・武器形・馬形・斎串を木簡では日付や大伴の姓、出羽国から中央に収められた甘味料アマズラが記された木簡、稲の品種が記された木簡を展示した。また、遊佐町からは 1200 点以上の墨書土器が出土しているが、その中で代表的なものを展示した。8 章の展示数は 91 点である。

第 9 章 平安時代の遊佐町の施釉陶器

大坪遺跡や、東田遺跡の灰釉陶器、宮ノ下遺跡、東田遺跡の緑釉陶器、下長橋遺跡の灰釉陶器、緑釉陶器を合わせて 59 点展示した。

第 10 章 中世の遊佐町 大楯遺跡の出土品

第 1 節 かわらけでは多量に出土した。かわらけのうち、完形の手づくね、ロクロ成形の代表的なかかわらけを展示した。第 2 節 国産陶器では珠洲、瀬戸、越前の陶器(壺、甕、播鉢、皿、水瓶)を展示した。第 3 節 木製品では木製皿、漆器皿、小椀、下駄、篋、糸巻、人形、砧を一部はシーラーパックにいたまま展示した。第 4 節 輸入磁器・硯・墨書板・鉄製品・古銭では輸入磁器の龍泉窯の青磁の碗、皿、青白磁の碗・皿、同安窯の碗・皿、白磁碗・皿合子等を、墨書板では将棋の駒や「ほろは」と書かれた遊佐荘に課せられた年貢のひとつの鷲羽のつけ札、「保元」の紀年名のある折敷の破片など 10 章では総数 142 点を展示した。

会期中には館長講座を 2 回開催し、遊佐町の弥生時代から中世の遺跡と出土品について理解・関心を深める解説を行った。この配布資料と講義を録画したビデオをホームページ上で公開した。

また、総頁 79 頁の展示図録を刊行した。

②第 33 回企画展「縄文時代草創期の石器工房—日向洞窟遺跡西地区—」

9 月 13 日(土)～1 月 31 日(土)

令和 6 年度に「日向洞窟遺跡西地区発掘調査報告書」が刊行された。第 33 回企画展ではこの調査成果を多くの皆さまに知っていただくことを目的として標題のと通りの企画展として開催することとした。展示構成は序章から第 12 章までとした。

序 章 日向洞窟遺跡西地区の調査と縄文時代草創期遺跡群

日向洞窟遺跡西地区の発掘調査の経過を振り返ると共に、大谷地周辺の草創期遺跡の概要を図と写真で紹介した。

第 1 章 日向洞窟遺跡西地区出土の土器

西地区の草創期の土器は脆弱で展示できるものも多くはない。ここでは VI 層(草創期)の細隆起線文土器、微隆起線文土器、爪形文土器、押圧縄文土器片を 18 点展示した。

第 2 章 日向洞窟遺跡西地区住居跡出土の石器

日向洞窟遺跡西地区では竪穴状に掘り窪められた遺構が検出されたが、この内、ST4 から出土した尖頭器、有舌尖頭器、半月形石器、石鏃、石錐、搔器、削器、礫石器等合計 126 点を展示した。

第 3 章 日向洞窟遺跡西地区土坑出土の石器

同じく土坑として登録された遺構からも石器の出土がある。この内 SK11～15 から出土した石器を合計 104 点を展示した。

第 4 章 VI層出土の尖頭器・有舌尖頭器・半月形石器

日向洞窟遺跡西地区VI層から出土した I～IV類の尖頭器を 253 点、I～II類の有舌尖頭器を 4 点 I～II類の半月形石器 33 点を展示した。

第 5 章 VI層出土の石鏃

日向洞窟遺跡西地区VI層から出土した I～VII類の石鏃を合わせて 1,010 点展示した。

第 6 章 VI層出土の石錐

日向洞窟遺跡西地区VI層出土の I～V類の石錐を合計 69 点展示した。

第 7 章 VI層出土の搔器

日向洞窟遺跡西地区VI層出土の I～VII類の搔器を合わせて 319 点を展示した。

第 8 章 VI層出土の削器

日向洞窟遺跡西地区VI層出土の I～VI類の削器を合わせて 73 点展示した。

第 9 章 VI層出土の篋形石器

日向洞窟遺跡西地区VI層出土の I～VI類の篋形石器を合わせて 111 点展示した。

第 10 章 VI層出土の両面加工石器

日向洞窟遺跡西地区VI層出土の I～VI類の両面加工石器を合わせて 96 点展示した。

第 11 章 VI層出土の石斧

日向洞窟遺跡西地区VI層出土の局部磨製(I類)、打製(II類)の石斧を合わせて 64 点展示した。

第 12 章 VI層出土の礫石器、石核・剥片・碎片

日向洞窟遺跡西地区VI層出土の礫石器の有溝砥石・砥石・敲石凹石・磨石・石皿・棒状礫、半割礫を合わせて 57 点展示した。また、石核は 7 点、剥片の接合資料を 4 点、ST4 の土壌の洗浄で検出された 5mm メッシュに残った碎片と、3mm メッシュに残った碎片をそれぞれ 3 個のシャーレに入れて展示した。

企画展開催中考古学セミナーを 3 回開催し、5 名の講師陣による講義を頂いた。講義を録画したビデオをホームページ上で公開した。また、11 月 9 日には佐藤宏之東京大学名誉教授の企画展記念講演会を開催し理解・関心の向上に努めた。この講演の配布資料と講演を録画したビデオをホームページ上で公開した。

会期中に 99 頁の展示図録を刊行した。

◇ 第 27 期考古学セミナー「日向洞窟西地区と縄文時代草創期の置賜」

9 月 21 日(日)・9 月 28 日(日)・10 月 5 日(日)

◇ 記念講演会「日本列島の縄文時代草創期と日向洞窟遺跡」

11 月 9 日(日) 講師：佐藤 宏之 氏 (東京大学名誉教授)

③kid' S 考古学新聞コンクール全国巡回展

令和7年6月7日(土)～10月26日(日)

2024年度「第5回kid's考古学新聞」の入賞作品の巡回展。昨年に引き続き開催した。県内からの入賞は今年もなかったが、全国各地の小学生の作品等19点のパネルを展示した。

⑤山形県指定有形文化財「お花山古墳群出土品」資料公開

(主催：山形県県民文化芸術振興課博物館・文化財保存活用室)

令和8年1月9日(金)～2月17日(火)

山形県県民文化芸術振興課博物館・文化財保存活用室が主催する県が所有する指定文化財の資料公開。今年度は平成18～23年度と令和2年度に保存修理事業が行われた「お花山古墳群出土品」を展示した。

展示の様子

特別テーマ展「遊佐町の考古学Ⅱ—弥生時代から中世の遊佐町—」の展示の様子



第33回企画展「縄文時代草創期の石器工房—日向洞窟西地区—」の展示の様子



4. 教育普及活動

(1) 講演会・ギャラリートーク

① 企画展記念講演会

11月9日(日) 受講者 41名

演題「日本列島の縄文時代草創期と日向洞窟遺跡」 東京大学名誉教授 佐藤 宏之 氏

② ギャラリートーク

今年度は実施しなかった。

(2) 体験事業

① 赤ちゃんの手形をつくろう

5月3日(土)～5月6日(火)

手形・足形個数 467個 1,759人参加

縄文時代の遺跡から出土した子どもの手形付き土製品にちなんだ催しである。

② 勾玉・弓矢・石器をつくろう

7月5日(土)・11月3日(月・祝) 参加者 計46名

勾玉は滑石、弓矢は竹を加工して作る体験を行った。石器作りは、頁岩という石を使って加工した。今年度は回数を減らし、7月と11月の2回行った。

③ ガラス玉をつくろう

6月7日(土)・11月15日(土) 参加者 計19組

ガラスの加工方法のひとつ「巻き付け技法」でのガラス玉作りを行った。

④ コースターをつくろう

6月14日(土)・11月29日(土) 参加者 計10名

ミニ機織り機を使う方法で、カラムシ(青苧)からとった繊維を使ってコースターを作成した。

⑤ 古代風ブレスレットをつくろう

6月14日(土)・11月29日(土) 参加者 計3名

古代から人々の生活で使われてきた「麻」の紐を編んでブレスレットを作成した。

⑥ 大人の自由研究1「カラムシから繊維を取ろう」

7月12日(土) 参加者 計2名

縄文時代から衣服等の繊維に使われてきた、カラムシから実際に繊維を取る体験を行った。

⑦ 大人の自由研究2「鮭の塩引きをつくろう」

11月22日(日)・12月7日(日) 参加者 計11組

縄文時代から食されたとされる鮭を使った塩引きを調理。尚、2回目を実施予定だった11月30日(日)は申し込みがなかった為、中止となった。

(3) 研修事業

〈講座研修〉

① 館長講座「遊佐町の考古学Ⅱ」 受講者 延べ 18 名

【第1回】 7月6日(日) 受講者 7名

【第2回】 7月13日(日) 受講者 11名

② 第27期考古学セミナー『日向洞窟遺跡西地区と縄文時代草創期の置賜』 受講者 延べ 79名

【第1回】 9月21日(日) 受講者 24名

「日向洞窟遺跡西地区の調査と縄文時代草創期の置賜の概要」

当館館長 渋谷 孝雄

【第2回】 9月28日(日) 受講者 27名

「日向洞窟遺跡の槍先形尖頭器を技術基盤とする石器群と東日本における位置づけ」

宮城県蔵王町教育委員会 鈴木 雅 氏

「日向洞窟遺跡西地区出土の頁岩製槍先形尖頭器における技術学的検討」

(公財)山形県埋蔵文化財センター 大場 正善 氏

【第3回】 10月5日(日) 受講者 28名

「日向洞窟遺跡西地区の年代的な位置づけと石器群の構造」

高島町教育委員会 鈴木 大輔 氏

「日向洞窟遺跡総括報告書刊行に向けて」

高島町教育委員会 水口 哲 氏

〈野外研修〉

① 春の遺跡めぐり

6月1日(日) 参加者 23名

山形県鶴岡市

(史跡旧東田川郡役所及び郡会議事堂→市指定史跡藤島城跡→県指定史跡平形館跡→鷲畑山1・2号墳→出羽三山歴史博物館→斎館(昼食)→南谷→羽黒山五重塔→いでは文化記念館→玉川寺→県指定史跡玉川遺跡)

② みる・きく・ふれる遺跡の旅

6月28日(土)～6月29日(日) 参加者 16名

「群馬県中南部をめぐる旅」 案内：芹沢 清八氏

(〈1日目〉太田天神山古墳→金山城跡・ガイド施設→

昼食→上野国新田郡家跡→威徳山総持寺→新田荘歴史資料館・長楽寺・東照宮→群馬県立歴史博物館→綿貫観音山古墳→伊香保温泉伊香保グランドホテル(宿泊)

(〈2日目〉藤岡歴史館・七奥山古墳→多胡の碑・同記念館→群馬県立自然史博物館→昼食→富岡製糸場)

③ 秋の遺跡めぐり

10月19日(日) 参加者 20名

山形県鶴岡市

(大山公園(尾浦城跡)→大山小学校 (菱津の石棺)→致道博物館→昼食→松ヶ岡開墾場→越中山遺跡→大日坊)

(4) 共催事業

① 考古資料検討会 共催：山形考古学会

令和8年2月21日(土)13:00～15:40 参加者41名

〈基調報告〉

「2025年度県内の発掘調査の概要」山形県観光文化スポーツ部 博物館・文化財活用課

〈調査報告〉

「南森遺跡」齊藤紘輝氏(南陽市教育委員会)

〈研究発表〉

「慶長5年出羽合戦の城～最上義光と上杉景勝の戦争用城の到達点」保角里志氏

「東根市蟹沢遺跡・尾花沢市谷地橋遺跡の概報」

佐藤祐輔・阿部明彦・小関優美・桑原葵・杉山ななせ・廣川真実氏

③ 第XVI期うきたむ学講座

1回目 令和8年2月1日(日) 当館研修室 参加者7名

—「古地図・古記録からみる河川の氾濫」をテーマとして—

講義内容 「絵図と水帳からみる河川の氾濫」 岩崎 義信氏(長井市観光文化交流課)

「野川扇状地と最上川氾濫原の微地形と古地図・古記録」

阿子島 功氏(山形大学名誉教授)

2回目 令和8年3月1日(日) 当館研修室 参加者21名

—「赤色立体図と城館関係」をテーマとして—

講義内容 「赤色立体図から見る山間地の遺跡や地形 —中世城館跡を中心に—」

角田 朋行氏(南陽市教育委員会社会教育課史跡文化主幹)

「絵図から見る米沢城—御三階をめぐる—」 吉田 歆氏(米沢女子短期大学教授)

(5) 学校教育との連携

① 学校団体等の入館

学校団体等の入館希望があった場合、減免申請書とともに利用打合せ書の提出をいただくこととしている。来館の目的・利用に際しての要望等を事前に把握することで、各学校のニーズに合わせた内容や効率的な時間設定を行うためである。

館内や隣接する歴史公園の見学と、体験学習(勾玉づくり・弓矢づくり・火おこし等)を組み合わせた内容を希望する学校が多い。放課後クラブ活動や文化祭、PTA行事での利用もあり、各学校に赴く出前講座の対応も行っている。

今年度も、県内を修学旅行先とした小学校の来館はあったが、新型コロナウイルスへの規制が緩和された影響もあってか、昨年度に比べると少なかった。

〈今年度実績〉 小学校 7 校 特別支援学校 1 校 大学 2 学

② 学校以外との連携

保育園・認定こども園との連携 3 件、学童保育との連携 2 件、公民館との連携 1 件、その他 6 件

(6) 博物館実習

8 月 19 日 (火) ～8 月 23 日 (土)

米沢女子短期大学より 1 名を受け入れた。実習内容としては、館の概要の説明、各種体験、実技 (写真撮影、拓本) を行った。また、学生自らの企画によるミニ展示コーナーを作ってもらった。

館外での実習として、亀岡地区公民館における学童保育の児童への体験活動の指導を職員と共に行った。また、高畠町郷土資料館及び浜田広介記念館の見学に行った。

初めて体験することが多く、また実習内容も多岐に渡るものであったが、真面目に取り組んでいたように思う。

(7) その他

① 調査支援・協力・相談

今年度は該当なし

② 資料調査 2 件

5 月 24 日・6 月 18 日 石川恵美子氏 (秋田県) 金谷原遺跡ナイフ形石器

6 月 23 日 アジア旧石器学会県内出土旧石器 参加者 75 名

7 月 1 日 金彦中 (東北大学大学院) 越中山 A' 遺跡接合資料、岩井沢遺跡出土品

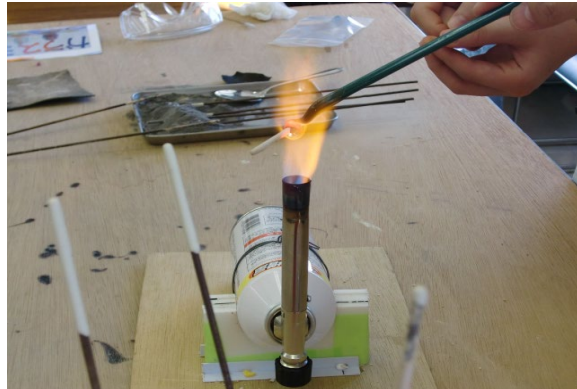
7 月 16 日 青森県三内丸山遺跡 押出遺跡出土品

体験事業の様子

勾玉・弓矢・石器をつくろう



ガラス玉をつくろう



5. 資料の活用

(1) 写真利用

利用資料	利用目的（印刷物等の名称）	利用者（発行者）	発行日など
押出遺跡出土 炭化食品（縄文クッキー）	『縄文・弥生・古墳時代のくらし』	株式会社ほるぷ出版	2026年2月17日
押出遺跡出土 縄文土器（大木4式）	『ずかん縄文土器』書籍版／電子書籍版	株式会社キャデック（技術評論社）	2026年2月26日（予定）
押出遺跡出土 石棒	『安蒜政雄先生傘寿記念論文集』（仮称）	株式会社雄山閣	2026年3月末日
押出遺跡出土 彩漆土器	『今、見に行く1000の縄文土器と土偶、それから石器』（仮題）	縄文ZINE（国書刊行会）	2026年3月30日
押出遺跡出土 炭化食品（縄文クッキー）	『ヒスカルセレクションシリーズ 縄文時代』	株式会社敬文舎	2026年3月31日

(2) 刊行物一覧

名称	発行日
令和7年度特別テーマ展『遊佐町の考古学Ⅱ—弥生時代から中世の遊佐町—』	令和7年6月14日
第33回企画展図録『縄文時代草創期の石器工房—日向洞窟西地区—』	令和7年9月13日
館報うきたむ65号	令和7年7月15日
館報うきたむ66号	令和7年12月1日
2025年報	令和8年3月31日

6. 入館者

(1) 令和7年度 月別入館者

月	有料入館者								無料入館者			計			合計
	個人		団体		減免者		小計		高校生以下	視察 その他		一般	大学生	高校生以下	
	一般	大学生	一般	大学生	一般	大学生	一般	大学生		一般	大学生				
4	84	2	20	0	0	0	104	2	37	80	0	184	2	37	223
5	141	2	361	0	9	0	511	2	939	1,199	0	1,710	2	939	2,651
6	111	3	39	0	27	21	177	24	218	222	0	399	24	218	641
7	131	2	0	0	11	0	142	2	84	132	0	274	2	84	360
8	211	8	20	0	5	0	236	8	94	268	1	504	9	94	607
9	138	11	0	0	3	0	141	11	117	200	0	341	11	117	469
10	145	5	23	0	16	36	184	41	60	100	0	284	41	60	385
11	126	6	33	0	0	0	159	6	91	147	0	306	6	91	403
12	45	0	0	0	3	0	48	0	13	31	0	79	0	13	92
1	12	2	0	0	0	0	12	2	3	26	0	38	2	3	43
2	27	5	7	0	0	0	34	5	4	62	0	96	5	4	105
3	58	4	21	0	9	0	88	4	19	38	0	126	4	19	149
合計	1,229	50	524	0	83	57	1,836	107	1,679	2,505	1	4,341	108	1,679	6,128

(2) 主な入館団体

- 《幼稚園等》 なかよしこども園、たかはたこども園、なごみこども園
- 《小学校》 鶴岡市立あさひ小学校、鶴岡市立朝暘第四小学校、高畠町立亀岡小学校、高畠町立和田小学校、高畠町立糠野目小学校、高畠町立高畠小学校、米沢市立広幡小学校
- 《大学》 山形大学、米沢女子短期大学
- 《学校以外》 鶴岡市上郷文化財愛護会、東北古代土器研究会の古代陶器検討会、アジア旧石器学会、大人の農業合宿、生涯学習センター松川クラブ、遊佐町教育委員会教育課、県史協、放課後等デイサービスすまいるはーと、たかはた墨田区交流委員会、学童保育シャボン玉クラブあたご、鶴岡市青柳町内会、長井黒獅子の里案内人
- 《出前講座》 ゆきわり養護学校、高畠町立高畠中学校、南陽市立宮内中学校、亀岡地区公民館

(3) 来館者アンケート

- ・想像図などがあり、遺物がどう使われていたかよく分かった。(岡山県 70代男性)
- ・南東北も縄文を推してほしい。北東北に負けないくらいすごい。(千葉県 40代女性)
- ・縄文クッキーの詳細を知りたい。出土した土器の数に驚いた。出土品の使用例をもっと知りたい。(埼玉県 40代男性)
- ・湿地帯の縄文時代という新しい知見を得られた。(千葉県 40代男性)

- ・一般人なので分かりやすい映像（各時代）をアニメを使って流してほしい（福島県 50 代男性）
- ・玄人向けにふりきった展示で凄かった。（福島県 50 代女性）
- ・漆土器（押出遺跡の彩漆土器）の出土写真がすごかった。現在の保存状態が気になった。（宮城県 30 代女性）
- ・弥生・古墳時代の展示が少ないと思う。多いと良い。縄文時代の住居の下に木材があって驚いた。（福島県 70 代男性）
- ・古代日本北部の様子を知れてよかった。（愛知県 20 代男性）
- ・今まで石器の見方がわからなかったが、分類を知ると観察のポイントが分かり面白かった。発掘・分類の結果どのようなことが分かったのか知れるとより良かった。（宮城県 30 代女性）
- ・旧石器～弥生まであって、理解しやすかった。（東京都 70 代男性）
- ・企画展の点数に圧倒された。（茨城県 60 代男性）
- ・石器・縄文土器の展示品が多い点が良かった。古墳群についての展示品をもっと見たいと感じた。せっかく良い展示をされているので、もっとアピールをして多くの人に見てもらった方が良いと感じる。（福島県 30 代男性）

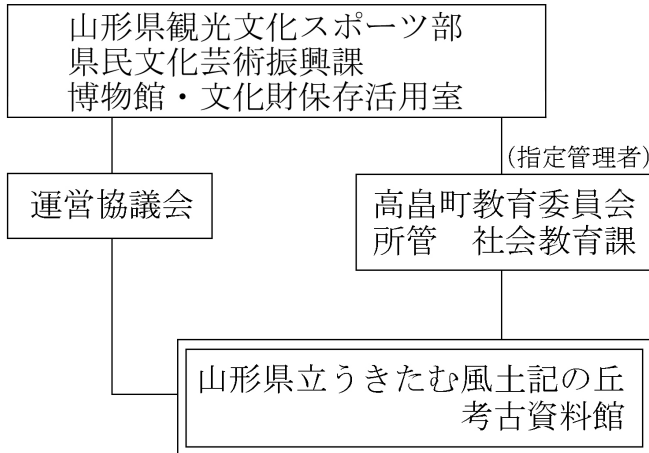
学校の見学・出前授業のようす



7. 管 理 及 び 運 営

(1) 組織・職員

[組織]



[職員]

職 名	氏 名	備 考
館 長	渋谷 孝雄	高島町会計年度任用職員
館長代理	小林 貴宏	高島町職員
学芸員	松本 恵美	高島町会計年度任用職員
学芸員	伊藤 純子	高島町会計年度任用職員
事務職員	鈴木 昌明	高島町会計年度任用職員
事務職員	木村 由紀子	高島町会計年度任用職員

(2) 運営協議会

【第1回】

令和7年10月30日(木) 本館研修室

会議内容

- ①運営協議会会長及び副会長の選出
- ②令和7年度考古資料館事業実施中間報告
- ③令和8年度考古資料館事業運営方針(案)

【第2回】

令和8年2月24日(火) 本館研修室

会議内容

- ①令和7年度考古資料館事業実施中間報告
- ②令和8年度考古資料館事業計画(案)
- ③その他

【本館運営協議会委員名簿】

氏 名	備 考
阿部 明彦 (副会長)	山形考古学会 会長
阿部 哲人	米沢市上杉博物館 学芸主査
石岡 かほる	上杉の御湯 御殿守 女将
岩崎 義信 (会長)	長井市観光文化交流課文化交流室 市史編纂担当
長谷川 健一	高島町立図書館 館長
高桑 弘美	公益財団法人山形県埋蔵文化財センター 事務局長
高橋 正昭	高島町立糠野目小学校 校長

8. 受 贈 図 書

発掘調査報告書

No.	名 称	発 行 者
1	市内遺跡 発掘調査報告書34	青森市教育委員会
2	五月女苑遺跡—市内遺跡発掘調査等事業に伴う発掘調査報告書—	五所川原市教育委員会
3	国史跡山王冨遺跡の研究VI 自然遺物・自然科学的分析・考察と総括編	弘前大学人文社会科学部 北日本考古学研究センター
4	立浪遺跡—国道13号横堀道路事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ—	秋田県教育委員会
5	神田遺跡—国道7号遊佐象潟道路事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ—	秋田県教育委員会
6	下台遺跡 第2次調査 個人住宅新築工事・庭地整備に係る発掘調査報告書	南秋田郡八郎潟町教育委員会
7	金沢城跡—後三年合戦関連遺跡調査事業に伴う総括報告書—	横手市教育委員会
8	下村遺跡 —農地中間管理機構関連ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—	横手市教育委員会
9	右京長根遺跡 —6次調査 宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書—	株式会社ロックス 盛岡市教育委員会
10	右京長根遺跡 —5次調査 宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書—	株式会社ハシモトホーム 盛岡市教育委員会
11	里館遺跡—第72次調査 事務所新築工事に伴う発掘調査報告書—	盛岡市教育委員会
12	盛岡市内遺跡群—令和3年度発掘調査報告書Ⅰ—二又遺跡 第16次	盛岡市教育委員会
13	西鹿渡遺跡 —第46次調査 宅地造成に伴う発掘調査報告書	盛岡市教育委員会
14	下永林遺跡Ⅲ 第10～12次発掘調査・盛岡広域都市計画事業 都南中央第三地区土地区画整理事業に伴う令和3～6年度発掘調査報告書	盛岡市教育委員会
15	近内中村遺跡(第2分冊) —宮古市都市計画課近内地区土地区画整理事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書 3—分冊Ⅰ本文・遺構一覧表編 分冊Ⅱ遺構図版編 分冊Ⅲ遺構図版・遺物観察表編 分冊Ⅳ写真図版編	宮古市教育委員会
16	北上遺跡群 堰向Ⅱ遺跡(2022年度)・蒲沢遺跡(2023年度)	北上市教育委員会
17	八天遺跡(第9次調査)	北上市教育委員会
18	牡丹畑遺跡(2023年度)	北上市教育委員会
19	羽場遺跡(2023年度)	北上市教育委員会
20	北上市内試掘調査報告(2023年度)	北上市教育委員会
21	藤沢遺跡(2023年度)	北上市教育委員会
22	平泉遺跡群発掘調査報告書 倉町遺跡第15次 坂下遺跡第16次 宿遺跡第8次 鈴沢の池跡第4次 毛越寺跡第22次	西磐井郡平泉町教育委員会
23	名勝 旧観自在王院庭園発掘調査報告書Ⅵ—第15次調査	西磐井郡平泉町教育委員会
24	河原遺跡・大衡中学校東遺跡/はぬきE遺跡—国道4号大衡道路拡幅工事関連遺跡発掘調査報告書Ⅱ—	宮城県教育委員会
25	早風遺跡Ⅰ	宮城県多賀城跡調査研究所
26	恵比須田遺跡ほか	大崎市教育委員会
27	市内遺跡調査報告書13～鷹の巣古墳群等測量調査～	白石市教育委員会

28	犬塚遺跡—土砂採取事業に係る発掘調査報告書—	亙理郡山元町教育委員会
29	山元町内遺跡復興調査総括—東日本大震災復興事業関連遺跡調査報告Ⅷ—	亙理郡山元町教育委員会
30	分布調査報告書(51)	山形県観光文化スポーツ部
31	原の内A遺跡 第4次発掘調査報告書	公益財団法人山形県埋蔵文化財センター
32	鶴子中原遺跡 発掘調査報告書	公益財団法人山形県埋蔵文化財センター
33	中洗2遺跡 発掘調査報告書	公益財団法人山形県埋蔵文化財センター
34	新庄城二の丸跡 発掘調査報告書	公益財団法人山形県埋蔵文化財センター
35	中野目Ⅱ遺跡発掘調査報告書	公益財団法人山形県埋蔵文化財センター
36	城輪柵跡ほか 酒田市内遺跡発掘調査報告書(2) 城輪柵跡54次調査、伊勢塚遺跡、亀ヶ崎城跡分布調査、松山城跡分布調査	酒田市企画部文化政策課
37	元屋敷遺跡調査報告書—百目木地区団地造成工事に伴う発掘調査報告書—	西村山郡大江町 株式会社三協技術
38	寒河江市内遺跡発掘調査報告書(31)	寒河江市教育委員会
39	日向洞窟遺跡西地区発掘調査報告書第1分冊 本編 第2分冊 遺物写真図版編 第3分冊 遺物観察表編	東置賜郡高畠町教育委員会
40	遺跡詳細分布調査報告書第38集 開発事業に伴う包蔵地内分布調査 大規模開発に伴う分布調査 米沢城東二の丸跡の発掘調査 史跡館山城跡の確認調査 詳細分布調査	米沢市教育委員会
41	国見町内遺跡調査事業報告3 貝田石壘	伊達郡国見町教育委員会
42	青苗遺跡 I 2023・2024北海道奥尻町青苗遺跡学術発掘調査概報	福島大学行政政策学類考古学研究室
43	郡山市埋蔵文化財分布調査報告書31	郡山市教育委員会
44	正直古墳群—総括報告書—	郡山市教育委員会
45	馬面遺跡—喜久田堀之内地区遺跡確認調査報告書—	郡山市教育委員会
46	鳴神・柿内戸遺跡—第8次発掘調査報告書—	郡山市教育委員会
47	横塚古墳群—方八町・横塚地区遺跡確認調査報告書—	郡山市教育委員会
48	東山田遺跡—第2次発掘調査報告書 第1冊 掘立柱建物・柱列—	郡山市教育委員会
49	下谷戸B遺跡 (一)小平塩原線滝ノ上工区道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
50	柳沢遺跡 (一)新巻市城線(新巻ICアクセス道路)道路改築(地方道・連帯)事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
51	森下宮原遺跡 本文編1旧石器時代から保墳時代の調査 本文編2古代から中近世の調査 写真図版編	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
52	水頭B遺跡 上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
53	羅漢町遺跡(2) 国道354号(羅漢工区)単独道路改築事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
54	中小坂鉄山・製鉄所跡 予防治山事業(甘楽群下仁田町大字下小阪(反替戸)地内)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
55	清水貝戸遺跡 一般県道南新井前橋線バイパス4期工区事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

56	樋越薬師遺跡(1)一級河川利根川(伊勢崎・玉村工区)河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(第一分冊)(第二分冊)(付図)	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
57	深沢遺跡 上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
58	沢ノ上B遺跡 上信自動車道吾妻東バイパス建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
59	前橋市0327・0367遺跡(一)苗ヶ島飯土井線社会資本総合整備(公域・埼玉)事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	公益事業団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
60	群馬県甘楽郡下仁田町 国指定史跡荒船・東谷風蚕種貯蔵所跡 荒船風穴蚕種貯蔵所跡調査報告書15	甘楽郡下仁田町教育委員会
61	千葉県船橋市 印内台遺跡群(6)	船橋市遺跡調査会 船橋市教育委員会
62	文京区小日向一・二丁目南遺跡Ⅱ—小日向住宅建物解体事業に伴う埋蔵文化財発掘調査(その2)—	東京都埋蔵文化財センター
63	文京区原町西遺跡—最高裁判所旧白山宿舎地区における埋蔵文化財調査—	東京都埋蔵文化財センター
64	港区圓福寺跡遺跡—(仮称)愛宕山周辺地区(F・G地区)市街地再開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査—	東京都埋蔵文化財センター
65	日野市平山遺跡—一般国道20号(日野バイパス(延伸))建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査その3—	東京都埋蔵文化財センター
66	練馬区 大泉中里遺跡第五次調査—補助第230号線(大泉町)整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査(その2)—	東京都埋蔵文化財センター
67	新宿区 百人町三丁目遺跡Ⅶ—旧関東地方整備局新宿寮地区の埋蔵文化財調査—	東京都埋蔵文化財センター
68	千代田区永田町一丁目遺跡Ⅲ—内閣府新庁舎(仮称)整備等事業に伴う埋蔵文化財発掘調査—(第一分冊)(第二分冊)(第三分冊)	東京都埋蔵文化財センター
69	長野県安曇野市 穂高古墳群 2023・2024年度E6号墳発掘調査報告書	國學院大學考古学研究室
70	一般国道8号 柏崎バイパス関係発掘調査報告書 20 丘江遺跡Ⅶ 第12次調査 山崎遺跡Ⅲ 第4・5次調査	公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
71	一般国道253号 八箇峠道路関係発掘調査報告書 5 金屋遺跡Ⅴ 第6～8次調査(3区)	公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
72	一般国道253号 上越三和道路関係発掘調査報告書16 堂古遺跡Ⅲ 第4次調査 二反割遺跡Ⅲ 第3次調査 館遺跡 I 第1～4次調査	公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
73	八十里越 歴史の道八十里越確認調査報告書	三条市
74	令和6年度 長岡市内遺跡発掘調査報告書	長岡市教育委員会
75	長岡城跡 —ホテル建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—	長岡市教育委員会
76	藤橋東遺跡群1—新潟県柏崎市 藤橋東遺跡群発掘調査報告書1—	柏崎市教育委員会
77	柏崎市の遺跡34—新潟県柏崎市内遺跡 令和5(2023)年度試掘調査等報告書—	柏崎市教育委員会
78	西岩野遺跡4—新潟県柏崎市 西岩野遺跡(第8～10次)発掘調査報告書—	柏崎市教育委員会
79	前田大清水口遺跡—経営体育成基盤整備事業(金ヶ沢地区)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—	魚沼市教育委員会事務局生涯学習課

80	宮田遺跡—経営体育成基盤整備事業(伊米ヶ崎中央地区)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—	魚沼市教育委員会事務局生涯学習課
81	栗東市上砥山遺跡	公益財団法人滋賀県文化財保護協会
82	野洲市 福林寺古墳群	公益財団法人滋賀県文化財保護協会
83	犬上郡豊郷町 四十九院遺跡	公益財団法人滋賀県文化財保護協会
84	高島市 朽木陣屋跡	公益財団法人滋賀県文化財保護協会
85	犬上郡豊郷町 八町古墳	公益財団法人滋賀県文化財保護協会
86	守山市 横江遺跡 I	公益財団法人滋賀県文化財保護協会
87	滋賀県内遺跡発掘調査報告書 令和6年度埋蔵文化財緊急調査費国庫補助事業(県内遺跡発掘調査等)	滋賀県文化スポーツ部文化財保護課
88	相国寺旧境内・公家町遺跡発掘調査報告書—今出川キャンパス正面門衛所建替え工事に伴う発掘調査—	同志社大学歴史資料館
89	加古川市 西條古墳群 行者塚古墳 墳丘・作り出し編「本文」「図番」2024	大手前大学史学研究所
90	特別史跡岩橋千塚古墳群 横穴式石室緊急調査事業報告書	和歌山県教育委員会
91	白木宮ノ前遺跡 I —1・2区 古代・中世編—	朝倉市教育委員会
92	治部ノ上遺跡 II 福岡県朝倉市入地所在遺跡の調査	朝倉市教育委員会

展示図録

No.	名 称	発 行 者
1	令和7年度 アイヌ工芸品展 アイヌの美—彩りと輝き	公益財団法人アイヌ民族文化財団
2	令和7年度特別展 縄文時代のはじまり—最古の土器登場—	三内丸山遺跡センター
3	特別展 縄文時代のおわり—クマとイネと土偶—	三内丸山遺跡センター
4	令和7年度是川縄文館特別展図録 貝へのあこがれ	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
5	第29回企画展 HUNTER—山と海に生きた縄文人—	宮古市教育委員会事務局文化課(崎山貝塚縄文の森ミュージアム)
6	第23回企画展 遺跡の学び館 総選挙2025あなたの推しは？	盛岡市遺跡の学び館
7	令和6年度 山形県立博物館プライム企画展 東北の自然史 大図鑑	山形県立博物館
8	山寺芭蕉記念館 収蔵名品図録	山寺芭蕉記念館
9	特別展 上杉の御殿 ～城・藩邸・伯爵邸～	米沢市上杉博物館
10	特別展 上杉謙信の祈りと信仰	米沢市上杉博物館
11	郡山市制施行100周年記念文化財企画展 郡山の歴史を語る100の遺物	郡山市教育委員会
12	岩宿博物館第81回企画展示 縄文時代の始まりと洞窟遺跡	岩宿博物館
13	岩宿博物館第82回企画展 発掘ガールの考古学入門—猪苗代湖畔で学び、つなぐ旧石器時代—共催:郡山女子大学短期大学部	岩宿博物館
14	令和7年度企画展 輝く武器・光る技—古墳時代の飾り大刀—	埼玉県立さきたま史跡の博物館
15	寶林寺 東輝庵展 横浜の禅 —近世禅林のルーツ	公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団
16	ペリー横浜上陸170年サムライMeetsペリーWith黒船 海を守った武士たち	公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団
17	生誕100年 中田喜直展	公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団
18	横浜の文化財 まもり伝える地域の記憶 Part1修復	公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団

19	横浜の文化財 まもり伝える地域の記憶 Part2伝承	公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団
20	東京国立博物館セレクション 高野切と仮名の美	東京国立博物館
21	東京国立博物館セレクション 『旧儀式図画帖』にみる宮廷の年中行事	東京国立博物館
22	東京国立博物館セレクション 小袖 江戸デザイン の粋	東京国立博物館
23	東京国立博物館セレクション シルクロードの美術 —大谷探検隊将来品—	東京国立博物館
24	根付 高円宮コレクション	東京国立博物館
25	企画展示 時代を映す錦絵—浮世絵絵師が描いた幕末・明治—	国立歴史民俗博物館
26	企画展示 野村正治郎とジャポニスムの時代 着物を世界に広げた人物	国立歴史民俗博物館
27	縄文文化の謎を考える—パプアニューギニアの民族史— PAPUA×JOMON	山梨県立考古博物館
28	令和7年度夏季企画展 安曇野～知られざる里山の祈り～	長野県立歴史館
29	令和7年度秋季企画展 疫病退散！除災祈願の考古学～木製祭祀具にみる古代の祈り～	長野県立歴史館
30	令和7年度長野県立歴史館冬季企画展 霊場小菅～飯山の遺産と文化～	長野県立歴史館
31	弥生のジュエリー	十日町市博物館
32	JAPANのルーツ—雪ふる縄文と世界遺産—	十日町市博物館
33	令和7年度 春季特別展 百済王氏絶統を紹ぎ興す	大阪府立近つ飛鳥博物館
34	令和7年度夏季企画展 古代人、食べる—食と考古学—	大阪府立近つ飛鳥博物館
35	令和7年度 秋期特別展 古代技術の精華—飛鳥池工房—	奈良文化財研究所 飛鳥資料館
36	令和7年度桜井市立埋蔵文化財センター特別展 纏向の王を支えた人々—纏向遺跡の方形周溝墓とその周辺—	桜井市立埋蔵文化財センター
37	令和7年度 紀伊風土記の丘休館記念秋期特別展 遥かなる古墳時代の海へ	和歌山県立紀伊風土記の丘
38	令和7年度 秋季特別展 山陰の飾騎	島根県立八雲立つ風土記の丘

館報・年報

No.	名 称	発 行 者
1	青森県立郷土館報 令和7(2025)年度版 (通巻52号)	青森県立郷土館
2	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 年報 令和6年度 No.14	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
3	秋田県立博物館年報 令和7年度	秋田県立博物館
4	秋田城跡歴史資料館年報2024	秋田市教育委員会
5	一戸町文化財年報 令和6年度(2024)	一戸町教育委員会世界遺産課
6	盛岡市遺跡の学び館 館報 令和5年度	盛岡市遺跡の学び館
7	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム年報 —令和6年度—	宮古市教育委員会事務局 宮古市崎山貝塚 縄文の森ミュージアム
8	北上市立博物館50周年記念誌	北上市立博物館
9	北上市埋蔵文化財年報(2023年度)	北上市埋蔵文化財センター
10	平泉学研究年報 第5号	世界遺産平泉保存活用推進実行委員会
11	平泉文化研究年報 第25号	岩手大学平泉文化研究センター
12	岩手大学平泉文化研究センター年報 2025 vol.13	岩手大学平泉文化研究センター
13	東北歴史博物館 令和6年度年報	東北歴史博物館
14	宮城県多賀城跡調査研究所年報 2024	宮城県多賀城跡調査研究所
15	東北大学埋蔵文化財調査室年次報告2023	東北大学埋蔵文化財調査室
16	会報 やまがたのミュージアム 第41号	山形県博物館連絡協議会
17	年報 ねまらっしゃい 第6号令和6年度	芭蕉、清風歴史資料館
18	まなびあテラス2024 東根市公益文化施設年次報告	東根市公益文化施設まなびあテラス
19	年報 公益財団法人上山城郷土資料館 第15号	公益財団法人上山城郷土資料館
20	米沢市上杉博物館 令和6年度年報 VOL.37	米沢市上杉博物館
21	福島県文化財センター白河館年報 ～令和6年度実績～	公益財団法人福島県文化振興財団福島文化 財センター白河館
22	岩宿博物館年報 令和5年度	岩宿博物館
23	かすみがうら市郷土資料館年報2023 第10号	かすみがうら市歴史博物館
24	国立歴史民俗博物館 要覧 令和7(2025)年度	国立歴史民俗博物館
25	東京都埋蔵文化財センター年報45 令和6(2024)年度	東京都埋蔵文化財センター
26	十日町市博物館年報 第11号	十日町市博物館
27	岐阜県博物館報 第48号	岐阜県博物館
28	館報 福井県立若狭歴史博物館 令和5年度	福井県立若狭歴史博物館
29	館報28 大阪府立近つ飛鳥博物館 令和6年度(2024)	大阪府立近つ飛鳥博物館
30	同志社大学歴史資料館 館報 第28号	同志社大学歴史資料館
31	令和5年度紀伊風土記の丘年報第51号 紀伊風土記の丘研究紀要 第13号	和歌山県立紀伊風土記の丘
32	桜井市纏向学研究センター年報 第13号(令和6年度)	桜井市纏向学研究センター
33	朝倉市文化財年報 令和5年度 朝倉市文化財調査報告書第55集	朝倉市教育委員会
34	大分県立歴史博物館年報 2024	大分県立歴史博物館

研究紀要

No.	名 称	発 行 者
1	浦幌町立博物館紀要 第25号	浦幌町立博物館
2	青森県立郷土館研究紀要 第49号	青森県立郷土館

3	特別史跡 三内丸山遺跡 研究紀要 -6- 令和6年度	三内丸山遺跡センター
4	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館研究紀要 第14号	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
5	八戸市博物館研究紀要 第38号	八戸市博物館
6	秋田県立博物館研究報告 第50号	秋田県立博物館
7	一関市博物館研究報告博物館研究報告 第28号	一関市博物館
8	北上市立博物館研究紀要 第24号	北上市立博物館
9	東北歴史博物館研究紀要 No.26	東北歴史博物館
10	地底の森ミュージアム・縄文の森広場研究報告 2024	仙台市富沢遺跡保存館
11	歴史遺産研究 第19号	東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科
12	山形県立博物館研究報告 第43号	山形県立博物館
13	福島県文化財センター白河館研究紀要 第23号	福島県文化財センター白河館
14	公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団 研究紀要 第15号 2025	公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
15	新潟県立歴史博物館研究紀要 第26号	新潟県立歴史博物館
16	研究説明書 苗場山麓の縄文土器 津南学叢書 第48輯	中魚沼郡津南町教育委員会
17	那須野が原博物館紀要 第22号 2026	那須塩原市那須野が原博物館
18	松戸市立博物館紀要 第32号	松戸市立博物館
19	明治大学黒曜石研究センター紀要 資源環境と人 類 No.15	明治大学黒曜石研究センター
20	東京国立博物館紀要 第60号	東京国立博物館
21	MUSEUM 東京国立博物館研究誌 No.712	東京国立博物館
22	MUSEUM 東京国立博物館研究誌 No.713	東京国立博物館
23	MUSEUM 東京国立博物館研究誌 No.714	東京国立博物館
24	MUSEUM 東京国立博物館研究誌 No.715	東京国立博物館
25	MUSEUM 東京国立博物館研究誌 No.716	東京国立博物館
26	MUSEUM 東京国立博物館研究誌 No.717	東京国立博物館
27	MUSEUM 東京国立博物館研究誌 No.718	東京国立博物館
28	MUSEUM 東京国立博物館研究誌 No.719	東京国立博物館
29	書陵部紀要 第76号	宮内庁書陵部
30	書陵部紀要 第76号[陵墓編]	宮内庁書陵部
31	國學院大學博物館学研究 第4号	國學院大學博物館学研究室
32	國學院大學博物館学紀要 第49輯	國學院大學博物館学研究室
33	公益財団法人日本文化財保護協会 『紀要』 第9号	公益社団法人日本文化財保護協会
34	岐阜県博物館調査研究報告 第45号	岐阜県博物館
35	大手前大学史学研究所紀要 第19号	大手前大学史学研究所
36	大分県立歴史博物館 研究紀要 No.25	大分県立歴史博物館

資料目録

No.	名 称	発 行 者
1	史跡八天遺跡跡整備基本計画	北上市教育委員会
2	特別史跡多賀城跡附寺跡 政庁南面地区整備事 業報告書	宮城県多賀城跡調査研究所
3	史跡 左沢楯山城跡 第1期保存整備事業報告書	西村山郡大江町教育委員会
4	令和6年度南陽市民大学講座実施報告書	南陽市民大学講座運営委員会 /南陽市教育委員会
5	国立歴史民俗博物館資料図録14 棟梁鈴木家資 料 江戸城御殿造営関係絵図面	国立歴史民俗博物館

調査資料

No.	名 称	発 行 者
1	令和4年度 歴史の道八十里越りレー講演会『歩き・み・ふれる歴史の道』記録集	三条市

学術雑誌

No.	名 称	発 行 者
8	山形県地域史研究 第50号	山形県地域史研究協議会
5	山形史学研究 第53号	山形史学研究会
6	米沢史学 第41号	米沢史学会

論文・抜粋

No.	名 称	発 行 者
1	研究論集 X X X IX	東京都埋蔵文化財センター
2	河野通明著 日本在来犁の総括的研究「民具からの歴史学」からのアプローチ【全2冊】	岩田書院
3	川西町フレンドリープラザ公演記録集1994-2024	川西町フレンドリープラザ

単行本

No.	名 称	発 行 者
1	ずかん 縄文土器	株式会社技術評論社

雑誌

No.	名 称	発 行 者
1	日本歴史 日本歴史学会編集 2025年 5月号	(株)吉川弘文館
2	日本歴史 日本歴史学会編集 2025年 10月号	(株)吉川弘文館
3	歴史研究の最前線 『もの』と『こと』: 痕跡から行為・認識へ vol.26	総研大日本歴史研究コース・国立歴史民俗博物館
4	REKIHAKU 性/生のルールを考える	国立歴史民俗博物館
5	REKIHAKU 海藻	国立歴史民俗博物館
6	観光と考古学 2025 第6号	観光考古学会

その他

No.	名 称	発 行 者
1	ずんだ伝道師によるずんだ伝道史	伊東武史
2	日本の歴史 学習資料集・索引 第4巻	株式会社ポプラ社
3	桑折町町制施行70周年記念 歴史漫画 半田銀山昔語り	伊達郡桑折町
4	復刻版 上郷のむかしむかし—そのあけぼのの時代— 川崎利夫	上郷文化財愛護会
5	沙羅書房古書目録 第110号	沙羅書房
6	沙羅書房古書目録 第111号	沙羅書房
7	抜粋のつづり その八十五	(株)クマヒラ
8	南相馬市博物館30周年記念誌 記憶を紡ぐ南相馬市博物館30年	南相馬市博物館
9	野尻湖ナウマンゾウ博物館 開館40周年記念誌	野尻湖ナウマンゾウ博物館

2025／年報

令和8年（2026年）3月31日

編集・発行 〒992-0302

山形県東置賜郡高畠町大字安久津 2117

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

TEL 0238-52-2585

FAX 0238-52-4665